



平成 22 年 4 月 22 日

各 位

会 社 名 旭 テック 株 式 会 社  
代 表 者 名 執 行 役 社 長 入 交 昭 一 郎  
(コード番号 : 5606 東証第 1 部)  
問 合 せ 先 経 理 部 長 小 谷 野 義 雄  
(TEL 0537-36-3103)

### 業績予想の修正及び特別損失に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 21 年 5 月 29 日に公表しました業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 連結業績予想数値の修正

平成 22 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	60,200	△300	△1,300	△1,400	△4.53
今回修正予想 (B)	58,200	150	△350	△700	△2.27
増減額 (B-A)	△2,000	450	950	700	
増減率 (%)	△3.3	-	-	-	
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月期)	218,806	△3,145	△12,200	△23,251	△70.82

#### 2. 個別業績予想数値の修正

平成 22 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正 (平成 21 年 4 月 1 日 ~ 平成 22 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	27,500	600	200	300	△0.64
今回修正予想 (B)	26,000	1,040	516	190	△0.23
増減額 (B-A)	△1,500	440	316	△110	
増減率 (%)	△5.5	73.3	158.0	△36.7	
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月期)	40,238	1,763	1,131	△31,783	△96.50

#### 3. 修正の理由

世界的な金融市場の混乱のあおりを受け、自動車市場全体の需要が減少し、低操業の状況が続いておりましたが、受注量に適應するための経費削減及び設備投資の抑制による減価償却費減少効果もあり、個別の営業利益、経常利益及び連結の営業利益、経常利益、当期純利益は前回発表予想を上回る見込みです。(詳細は、別紙「参考資料」をご参照願います。)

なお、個別においては、特別損失を以下の内容にて第 4 四半期会計期間に計上しており、当期純利益は前回発表予想を下回る見込みです。

#### 4. 特別損失の計上

当社軽合金事業本部はアルミ事業の連結収益性の改善及び海外事業を強化するため、菊川南工場でのアルミ金型鑄造品の生産をタイ子会社（ASAHI TEC ALUMINIUM (THAILAND) CO., LTD.）へ移管するとともに、アルミ砂型鑄造品の生産を横地事業所へ移管する計画です。それに伴い減損損失 620 百万円を特別損失に計上しております。

なお、詳細は本日公表のリリース資料「アルミ鑄造事業の生産拠点再編について」を参照願います。

注) 上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

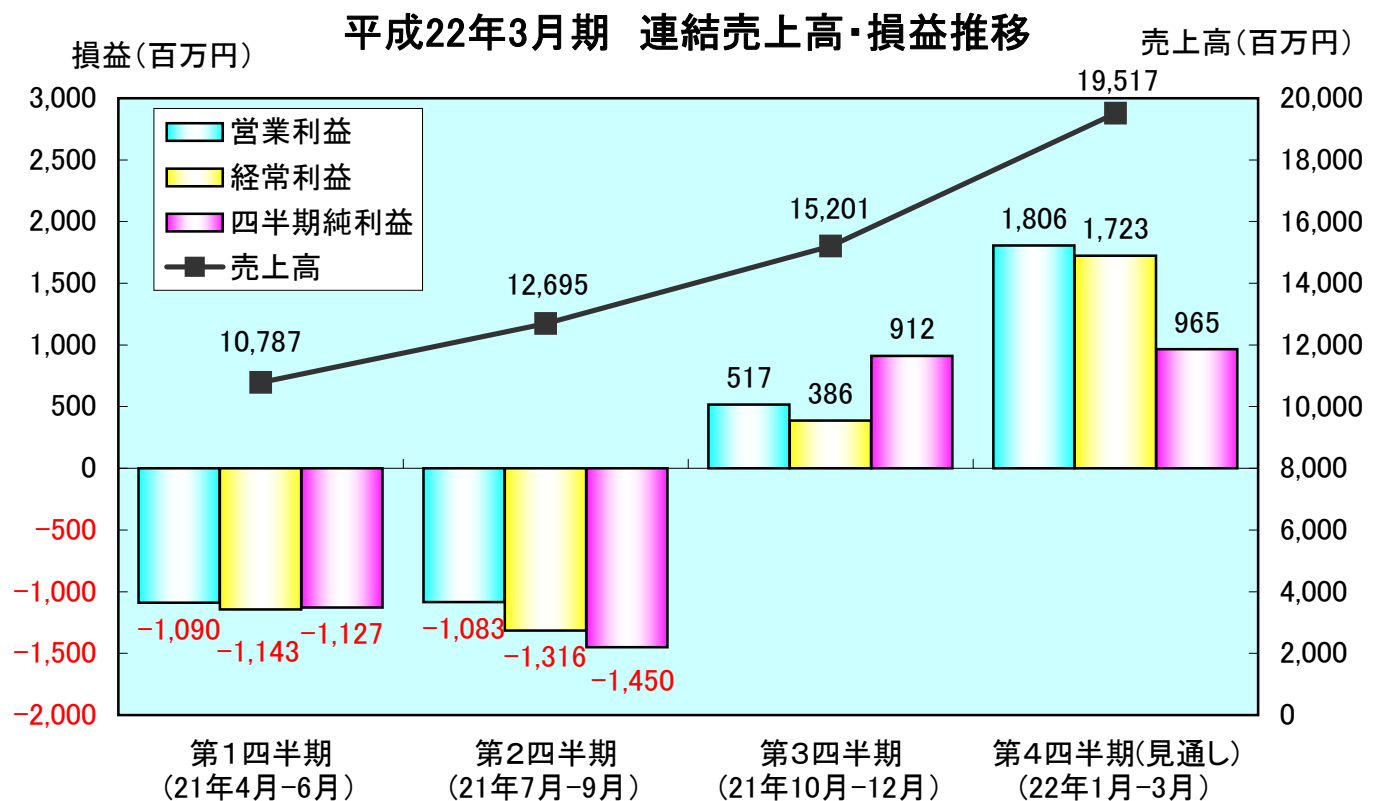
以上

(参考資料)

## 平成22年3月期 連結業績予想について (連結営業利益黒字化)

当第4四半期の連結営業利益は第3四半期に引き続き大幅に改善する見通しです。

当第4四半期連結会計期間(直近四半期)の売上高は195億17百万円(直前四半期比43億16百万円増加)営業利益は売上高の回復により18億6百万円(直前四半期比12億89百万円改善)を達成する見込みです。



(単位:百万円)

	第1四半期 (21年4月-6月)	第2四半期 (21年7月-9月)	第3四半期 (21年10月-12月)	第4四半期 (見通し) (22年1月-3月)	22年3月期通期 (予想) (21年4月-22年3月)
売上高	10,787	12,695	15,201	19,517	58,200
営業利益	△ 1,090	△ 1,083	517	1,806	150
経常利益	△ 1,143	△ 1,316	386	1,723	△ 350
当期(四半期)純利益	△ 1,127	△ 1,450	912	965	△ 700

以上